

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（南）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	算数A「数量関係」B「面や辺の位置関係など（面積全般）」「式の意味を理解して説明する。」に課題。 国語A「中心となる内容をつかむ。」B「読む能力」に課題	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全体の取組	問題データベースを、朝学習に位置づけて全校一斉で取り組む（第1・2週）。1月は計算、2月は数量関係、3月は弱点克服の強化月間を設定する。2度同じ問題を解き、回答率が伸びているか検証を行う。	A	問題データベースを、朝学習に位置づけて全校一斉で取り組んだことで、回答率の伸びが見られた。（85%以上達成） 継続して、問題データベースを、朝学習に位置づける（国語・算数を2週間交代）。
①	B問題に類似した問題を解いて、解き直しも行う。解き方の記述を書くことで条件に沿った記述ができるようにする。記述の仕方については校内研修で解き方の研修を月に1度行う。	B	B問題に類似した問題を解いて、解き直しも行ったことで条件に沿った記述に慣れることができた。来年度もチャレンジタイム（5、6年生が月1程度）を設け、応用問題で条件に沿った記述ができるようにする。その問題の記述の仕方については校内研修で研修を行う。
②	自主学习ノートに「めあて・まとめ・振り返り」を記述させることにより何を学ぶかを明確にもち取り組ませるようにする。自主学习コンテストを学期に2回行い児童が意欲的に行うことができるようにする。	B	「めあて・まとめ・振り返り」の記述を意識させることで、何を学ぶかを明確にもち取り組ませることができた。来年度は、4月中に「自主学习の取り組み方」の授業を3～6年生で行い、意欲付けをして、提出率90%以上を目指す。
③	家庭学習が定着しにくい児童には、休み時間や放課後などで個別指導を行い、2学期よりも未提出率の低下を図る。	A	各学年、休み時間や放課後などで個別指導を行い、2学期よりも未提出率の低下を図ることができた（90%以上の児童が提出）。来年度は、残り10%の児童が提出できるように家庭学習の量や質の検討を行う。
※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」			

平成28年度 津山市立（ ）小・中学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	算数・数学・・・現状（特に主な課題点を記入すること） 国語AB・・・現状（〃） この記入を忘れずに！	
学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）		進捗状況	3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
取組 例	①「問題データベース」を活用し、課題のあった類似問題を取り上げ、学年一斉の実施日を設定して取組む。 ②朝学習や家庭学習を活用して、既習事項の復習を行う。 ③直しを徹底することで基礎学力の定着をはかる。 ⑤「家庭学習カレンダー」を毎日記入させ、家庭学習の習慣づけを図る。	B	○活用問題は、全員が問題データベースを使用し類似問題を解く（100%） ○「家庭学習カレンダー」を実態に合わせ、毎日提出。（90%以上） ○家庭学習が定着しにくい児童には、放課後等で個別指導。（3学期） ○授業の中で、キーワードや条件を入れてまとめたり、自分の考えを書いたりする場面を多く設定する。
市全 体の 取組	「問題データベース」を活用し、A問題の課題のあった類似問題を取り上げ、朝学習又は、放課後、授業中に位置づけて全校一斉で取組む週間を設定する。 など		○問題データベースを活用し、A問題の課題のあった類似問題を取り上げ、朝学習に位置づけて全校一斉で取組む週間を第2・4と決めたことで、アクセス数が増えた。また、活用問題については更なる問題データベースの活用を促す。
①			
②			
③			
<p>※進捗状況・「S：目標をほぼ達成」「C：目標をある程度達成」</p> <p>※市全体の取組では<u>問題データベース</u>を活用した<u>各校の具体的な取組</u>を記入する。 ※特にこの2ヶ月、<u>年度末の1ヶ月</u>と、<u>年度初めの1ヶ月</u>を意識した具体的な取組みを！</p>			